

【年齢別ダブルス大会】

期 日 平成23年5月14日(土) 晴れ(強風) 9:00~17:00

会 場 七北田公園コート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	36名	36名
女子	30名	43名
合計	66名	79名

	男子	女子
110+	—	4組
120+	4組	5組
130+	5組	5組
140+	6組	—
シニア	6名	2名

会 費 1200円

大会要領1. 各クラスはラウンドロビン方式により順位を決定。

但しシニアクラスはペアーが変わる組合せ。

2. 試合は男子120+・女子110+は1セットマッチ(6-6対ブレーク)とし、他のクラスはノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取とする。

各クラスの優勝者

男子	氏名	女子	氏名
120+	平間 篤・松浦 真	110+	櫻谷恵美子・城田 陽子
130+	小田島政勝・斉藤 次郎	120+	千葉みち子・山崎由美子
140+	渡邊 貞夫・加藤 精一	130+	置田真樹子・有賀 昌子
シニア	奈良征一郎	シニア	庄司 勝子

大会を振り返って

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の影響でテニス連盟の総会を兼ねた「団体戦(4月)」が中止となり、今大会が23年度第一回の大会となりました。

開会式では和田会長から震災に遭われた方々へのお見舞いと、平成22年度事業計画の報告、そして平成23年度事業計画及び予算に関しての“事後承認”をお願いして『がんばろう宮城』の合言葉のもと熱戦が繰り広げられました。



大震災が大きな影を落とし、大会の申込締切日が過ぎても、参加者が40名に届かず、試合が成立しないクラスが出るなど心配されましたが、役員の皆さんによる声かけで大会当日ギリギリになってなんとか66名の皆さんに集まっていただきました。

大会当日は朝から台風並みの強風が吹き荒れ、ボールが大きくカーブしたり前に押し戻されたりと、どのコートでも珍プレーが続出して、Wさんからは「勝敗はジャンケンにしてくださいよ!」と冗談が出るなど大変な一日となりました。

今大会で特徴的だったのは、男子140+クラスに優勝経験者がそろった強豪ペアが出揃い、どの試合も緊迫した面白い展開となり、随所でとてもいいプレーが堪能できました。

【混合ダブルス大会】

期 日 平成23年7月2日（土） 9：00～17：00 晴れ

会 場 七北田公園コート 8面

参加者

Aクラス	11組	合計 66名
Bクラス	15組	
Cクラス	7組	



会 費 1200円（上位入賞者に賞品・全員にお楽しみ賞）

- 大会要領
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取
 3. 各クラスごとの総当り戦（変則リーグ戦を含む）



各クラスの優勝者

Aクラス	松山 眞水・木村 七枝
Bクラス	大賀 延行・佐藤 勝子
Cクラス	波田 隆男・後藤 つや子

大会を振り返って

昨年度の「混合ダブルス大会」は泉パークタウンテニスクラブで行われたこともあって88名の参加者をいただきましたが、今回は66名と22名も少なく少し淋しい大会となりました。

特に「シニアクラス」は3名しか申し込みがなく組合せが作成できなかつたため、他のクラスに変更していただきました。

参加者の少ないのは、やはり大震災が影響しているのか、それとも大会の在り方の見直しが必要なのか、来年度に向けて課題が残りました。

大会当日は、気温25度・うす曇りの絶好のテニス日和となり熱戦が繰り広げられました。

試合は参加人数が少ない分、コートに余裕があり、決勝トーナメントを含めて全試合をノーアド6ゲーム先取の比較的ゆったりとした試合運びで進行したため、最後の試合が夕方の5時ギリギリになってしまい成績発表・閉会式がドタバタしてしまいました。

【技量別ダブルス大会】

期 日 平成23年9月17日（土） 9：00～17：00 くもり

会 場 七北田公園コート8面

参加者

男子	32名
女子	43名
合計	75名

男子	
A	9組
B	6組
C	0
シニア	2名

女子	
A	13組
B	4組
C	3組
シニア	3名

会 費 1200円（上位入賞者に賞品・全員にお楽しみ賞）

- 大会要領
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による5ゲーム先取
但し参加者の少ない女子B・Cクラスは1セットマッチとする
 3. 各クラスごとの総当り戦（変則リーグ戦を含む）
 4. シニアクラスは一試合ごとにパートナーを変える

各クラスの優勝者

男子	氏名	女子	氏名
Aクラス	井澤 秀雄・菊地 昭男	Aクラス	千葉みち子・石亀 幸子
Bクラス	小野 吉弘・北野 寿一	Bクラス	高橋久美子・石田 泰子
Cクラス	なし	Cクラス	佐々木徳子・穴戸 恵子
シニア	斉藤 昭男	シニア	渡辺トミ子

大会を振り返って

今大会は「Aクラス」が男子9組、女子13組と圧倒的に多く、逆にCクラスは男子の申込が1組だけで（Bクラスに入ってもらいました）、女子も3組と少なく、昨年度の大会とほとんど同じようなクラス別となりました。閉会式でもお話しさせていただきましたが、来年度以降も申し込み方法を現状のままとするのか、役員会で話し合っていきたいと思います。



大会当日は、午後から大雨の予報に反して“うす曇りで無風”の絶好のテニス日和となり、各クラスとも「技量別大会」ならではの力のこもった熟戦が繰り広げられました。

特に男子Aクラスの決勝戦は井澤・菊地組と松山・加藤組の実力者同士が顔を合わせ、観衆(?)が固唾を呑む大接戦となりましたが、最後は5-5から井澤・菊地組が押し切り、僅差で優勝を勝ち取りました。また女子Aクラスは、赤・青・緑のブロックを勝ち抜いた6組による決勝トーナメントを行い決勝戦の終了がギリギリ17時となり、優勝した千葉・石亀組と準優勝の置田・南谷組にはコート上での表彰式となってしまいました。

写真：桃組の皆さん

【連盟祭り（団体戦）】

期 日 平成23年11月12日（土）

9:00～17:00 快晴

会 場 七北田公園コート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	35名	28名
女子	50名	54名
合計	85名	82名



会 費 1000円

（優勝・準優勝・敢闘賞の順に全員に賞品）

- 大会要領 1. 参加者全員を4組（赤組・青組・緑組・桃組）に分けて、女子・男子・混合の各ダブルス3種目による団体戦を行う。
2. 各組の編成は年齢順に並べて努めて均衡が保てるように工夫した。
3. 試合はノーアド6ゲーム先取で行い、1試合30分間の時間制限とする。

成績	赤組	青組	緑組	桃組	勝敗	順位	参考：勝数
赤組		⑨—7	⑨—7	7—⑧	2勝1敗	準優勝	25勝
青組	7—⑨		⑧—7	5—⑨	1勝2敗	敢闘賞	20勝
緑組	7—⑨	7—⑧		7—7	2敗1分	敢闘賞	21勝
桃組	⑧—7	⑨—5	7—7		2勝1分	優勝	24勝

大会を振り返って

大会当日は、朝から雲ひとつない秋晴れとなり、午後になっても七北田公園コート特有の強い風も無く絶好のテニス日和となりました。

昨年度の大会は男性の申し込みが女性の約半分と少なく、バランスの悪い編成表でしたが今回は男性が全体の40%まで挽回し少しホッとしました。

また昨年度のオーダー表は選手の年齢・技量のほか過去の大会成績などを加味したものとして出来るだけ一方的なゲームを少なくするように工夫したつもりでしたが、手を入れ過ぎたためか面白味に欠ける試合が多く、対戦結果が予想をはるかに超える大差となってしまう、少し不満の声が聞かれました。

そのため、今回のオーダー表については、各組のリーダーに全て自由にお任せして、それぞれ各組独自の特徴のあるオーダー表を作成していただきました。

結果として上表の通り“勝数”では僅差の順位決定となり、気合の入った応援で、試合が大いに盛り上がり楽しい大会となりました。

【WEEKDAY交歓会】

競技部 齊藤 次郎

新年度からはコートを増やし、存分にプレーを楽しめるようにしました。（南インターを除く）少々気になることは、参加者がここ数年40～50人前後で推移しており、天候のリスクを考慮しても、会員数全体の1/5程度と少ないのではと感じております。

“皆様、コートに遊びがないよう、ふるって参加してください！！”

運営委員一同、プレーがやりやすくなるよう、環境整備を心がけていますので、この連盟が益々発展するためにも、皆様の参加を心待ちにしております。

昨年度は Weekday 交歓会に参加された皆様にご協力いただき、大過なく運営できたことをこの紙面を借りて感謝申し上げます。

“知っていました？皆勤賞？”

10回全部のWeekdayに参加された方には、会より感謝の気持ちを込めて皆勤賞を差し上げています。素晴らしい賞品ですよ！ぜひ、あなたも挑戦してみてください！

【平成23年度皆勤賞】

奈良征一郎さん、土生 寛さん、中川和子さん、日高登志子さん、八重樫ともさん、千葉みちこさん、梅崎千枝子さん、がWeekdayを盛り上げてくださいました。



◎年齢別ダブルス大会優勝者の一言！

質問①：優勝のポイントを教えてください。

質問②：その様な練習をしていますか！

質問③：その他（テニスに関する事）



[男子130+]

小田島 政勝・**齊藤 次郎**

- ① 良きパートナーに恵まれ、楽しくプレーができたこと。
ペアの良い配球でチャンスボールを作ってもらい、たたくだけというパターンで勝てました。
- ② ポイントをはっきりと絞った練習を心掛けている。
- ③ 真剣に楽しむことが一番大事と思っている。
- ④ 余談：負けた試合こそ自分の勉強になるから不思議。

[男子130+]

加藤 精一・渡邊 貞夫

- ① 全て、良きパートナーのお蔭です。パートナーとの連携でネットプレーに出て、前に詰め、攻めに徹したことが良く、比較的楽な試合をすることが出来ました。
- ② ブルドンクラブ（年齢60歳以上、男子21名）で毎週、火曜日と金曜日の2回、2時間をゲーム中心の練習。日曜日は7人の仲間と、ストローク、ボレー、スマッシュ、サービスとバランスを考え、ストロークは手打ちにならないようにする。ボレー、スマッシュは身体の前方でボールを打てるように心掛けて、基礎練習を楽しんでいます。
- ③ 試合の前日の晩酌の酒量を少なくする。当日は、早起きして試合前の身体を整える。

[女子110+]

櫻谷 恵美子・城田 陽子

- ① ペアとのコンビネーションがうまくいきお互いミスが少なかった事。
- ② レッスンでの教えをテニスクラブで、ゲームにていかせる様、練習しています。
- ③ ケガなく無理せず楽しいテニスを長く続けられたらと思います。

[女子120+]

千葉 みち子・**山崎 由美子**

今年、私もとうとう還暦を迎えて大人の仲間入りしました。いきいきの皆さんも経験されてきたと思いますが、更年期・親の介護等、目下私も奮闘中！今回の優勝はパートナーに恵まれ・支えられてのことでとても嬉しく思っております。

先輩の皆さんを見習い私も一日でも長くテニスが続けられるよう今後も精進します。

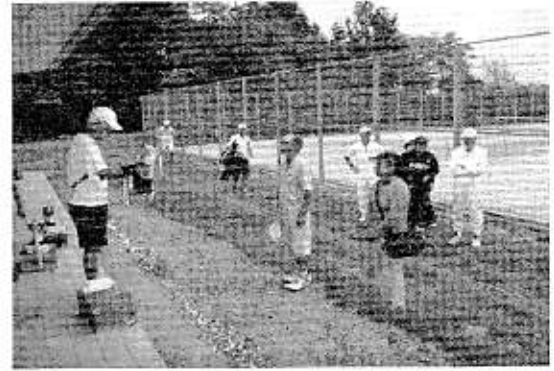
[シニア]

庄子 勝子・**奈良 征一郎**

- ① 「予測して走り回る」ことが出来ました。冬はプールで歩くトレーニングを続けている効果でしょう。
- ② 「ミスの少ないプレー」「粘り強いプレー」を目標に練習しています。先輩のプレーを参考に「ボレー」「ロブ」で自然に落ちる体力をカバーしようと努力中です。
- ④ シニアクラスにもっとたくさんの仲間が参加して下さることを期待しています。各回10名以上の参加者がそろわないと、「シニアクラス」が廃止になりそうです。これからも「永く、楽しいテニス」を続けるために、お待ちしております。

◎混合ダブルス大会優勝者の一言！

- 質問①：優勝のポイントを教えてください。
質問②：その様な練習をしていますか！
質問③：その他（テニスに関する事）



[Aクラス]

木村 七枝・松山 眞水

- ① いきいきテニス連盟の会員になり20数年になりますが、混合ダブルス大会はなぜか苦手で2～3回しか参加していませんでした。久しぶりに参加し、優勝できたのは、正に、パートナーの木村七枝さんのお蔭であります。予選リーグ3戦、決勝トーナメント2戦と、一日に5セットの大会は、老体にとって、長時間、気力・体力を保持する必要があり、大変なことでありますが、幸い若い木村さんの力添えがあり、勝利できたものと思っています。
- ② 特別な練習はしていません。所属している、泉パークタウンテニスクラブで、会員と試合や練習をしています。クラブには屋内コートが有り。荒天時、特に冬期の雪の日でも練習出来ることはありがたいことです。短時間でも、可能な限りラケットを握り、振ることが、この年令になると、力量を衰えさせない唯一の方法と思い、実行していますが、ただ過度にならない様、注意が必要とも思います。
- ③ テニスはハードなスポーツのイメージがありますが、それなり（年令相応）の量と質の練習を自分なりに工夫すれば、生涯スポーツとして楽しく健康な生活ができると思います。ただ我々には普通テニスといえば、ダブルス戦ですが（シングルスが主流で、ダブルスは、お楽しみ種目という説もありますが）ダブルスではパートナーへの思いやりと信頼が無いとお互いつまらないし、対戦相手に不快な思いをさせる場合もあります。ダブルスはそのメンタル面で難しいものがあります、心したいものです。

[Bクラス]

佐藤 勝子・大賀 延行

- ① まずは佐藤勝子さんと言うパートナーに恵まれたことです。
Bクラス（16組）桃組で出場、予選リーグでは初戦は大山夫婦が欠場したため不戦勝、その後2戦して結局は3勝して決勝リーグに駒を進めました。
準々決勝の対戦相手は「海野／酒井」ペアでしたが酒井さんが両足の脹脛を痙攣し途中棄権、運も味方にして次のステップへ、準決勝は「保志／阿部（真）」ペアと対戦し何とか勝上がり決勝戦へ、決勝の相手は「佐藤（信）／松倉」ペアでした。何とか前半リードしていたのが良かったようで、途中時間切れで勝ちを拾った優勝でした。良きパートナーに恵まれ何十年ぶりかでカップを頂きました。
今回の優勝のポイントは、i パートナー、ii 対戦ブロック、iii 運も多少あり、iv ゲームでは先制ポイントを取らなければいけない、と思いました。
- ② 普段は昔からのテニス仲間と月4回、土または日曜日、2時間、七北田コート、泉総合コート、桜ヶ丘コートなどで行い、またナイターテニスは川内コートを利用して4月～11月まで屋外にて、また12月～3月まで室内（シェルコムせんだい）20時～22時迄、週1／木、また昨年の5月からパーク会員に成り土・日と水曜日、午前中、9時～12時頃までテニスしています。主にゲーム感覚でのプレーが多くそれなりに楽しんでいきます。

③ 昭和63年発足、当時の名称は“宮城県壮年テニス連盟”でした。入会して25年の歳月が流れました。入会当時はコートが少なく青葉山市営コート（クレーコート）、宮城野原県営コートなどがメインで、三大大会・連盟祭り・WEEKDAY 交歓会・対外交流大会

（いわきベテランテニスクラブ）などが行われていました。またコートも市の施設や県の施設などに交渉に馳せ参じたりしながらの確保でした。青葉山コートでの大会当時だったと記憶していますが、コートが前日の雨で水溜まりが出来て参加者全員で雑巾、スポンジなどにて水分を取り、砂を入れローラー掛けをしながらの大会などもありました。今思えば懐かしい思い出に成ります。当時を体験された方も何人かは今も連盟にいると思います。

小生も入会して1年目頃から役員をしていましたが人数も今の半分にも満たない状況でした。勿論、役員会議などはお茶が出る程度で今は弁当も出るようになり比べ物にならない状況の中の会議でした。三大大会・連盟祭り、この頃からメイン・イベントで現在に至っています。特に技量別ダブルス大会は、男女関係なく対戦（混合・男子同士・女子同士の対戦でした）Aクラス・Bクラス・Cクラスと別れ1年間の築き上げた腕前の見せ所というので厳しい中にも楽しみもありと言った大会でもありました。

今は人口砂入り（オムニコート）など沢山出来、またインターネットで簡単に取れることが出来るようになり便利になりました。

「追伸」この場を借りて一言、事務局から・・・連盟のお手伝い（2・3年）をして頂ける人がいると助かります。今は出来ないが来年または翌年なら出来ると言う方でも歓迎します。我と思う方は事務局または役員まで連絡ください。

[Cクラス]

波田 隆男

- ① 何と言ってもポイントを稼いでくれたパートナーの後藤さんのお蔭です。信頼していたので、気持ちが楽でした。ストロークの調子も良かったのでボールに集中し思い切り相手のコートにボールを打つ事が出来たのが勝因だと思います。同じクラブで練習していますが、混合ダブルスでペアを組んで大会に出たのは始めてです。パートナーと上手にかみ合ったゲームが出来たのが勝因かな。
- ② ジョイフルテニスこごたクラブで練習、コートはクレーでシーズン中の練習日は（火）（木）（土）の午前中、恵まれた環境ですが、指導者不在、これはそれなりの楽しさがあると思っていました。練習は、殆どストロークとミニゲームでテニスを楽しむと言う感じです。当連盟に入会しクラブ外の方と試合する機会に恵まれましたが、ゲームではなかなか勝利する事が出来ずにいます。（今回はパートナーに恵まれての勝利かな）最近ダブルス戦を意識した練習を少し自分なりに工夫しています。
- ③ 自分では全くの健康体と思っていましたが、突然この秋体調を崩し入院しました。現在リハビリ中です。来シーズンには復帰出来るかな・・・早くテニスが出来ると、健康の有り難さを痛感しています。



後藤 つや子

- ① 初めての混合ダブルスに出場しました。パートナーの実力を良く知っていたので、お互いをカバーする事が出来ました。最初の対戦相手の方達が一番強いチームだった事を後で知りました。無欲だったのが良かったのでしよう。大変良い勉強になりました。

- ② 週2～3回、ナイターで練習しています。良き指導者に恵まれ、若者達と一緒に汗を流しています。年齢に関係なく相手をしてくれるので大変有り難いです。
- ③ テニスに感謝しています。明日どうやって生きて行こうかと下を向く日々、町の硬式テニス教室に出会いました。自分が立ち直らなければ家族を支える事が出来ないと、ワラにもすがる思いでした。あれから二十二年、テニスが大好きな仲間達、「いってらっしゃい」と練習に送り出してくれる家族に囲まれ、心豊かな毎日です。

◎技量別ダブルス大会優勝者

質問①：優勝のポイントを教えてください。

質問②：その様な練習をしていますか！

質問③：その他（テニスに関する事）

[男子Aクラス]

井澤 秀雄・**菊地 昭男**

- ① 今大会で優勝できたことは、良きパートナーに恵まれたこと、自分のペースで試合が出来た事などだと思います。今回の試合でも対戦相手のペースとなり、苦しい場面も何度かありました。これまでの試合経験から言える事は、苦しい時はいつも相手のペースに合わせているようなところもあり、これを払拭するには、普段の練習どおり、ゲームを進めることだと思っています。今回の試合では技量もさることながら平常心で戦えたことが優勝のポイントかな???
- ② 毎週火曜日から金曜日まで、一日2時間から3時間程度、石巻ローンテニスクラブ、土・日曜日はSDTC（若干に若いクラブ）です。特別な練習もせず、試合前のアップ程度でゲームを始めますが、私としては練習目標を持ってプレイしています。試合中はミスも多く、パートナーの方に悪いと思いながらも練習しています。特に勝敗にこだわる方には心の中ですまないと思っています。
- ③ 今年は71歳になります、健康と体力維持を考え無理をせず、勝敗にこだわらないように遊んでいるつもりですが、ゲームになると、どうしても力が入ります。最近では膝の痛みを感じるようになりました、少しでも長くプレイを楽しむ為にも、自分の体力に応じた、効果的な練習方法（打法）もあるのではないかと考えております。

[男子シニア]

齊藤 昭男

- ① 1年ぶりのテニス復帰緒戦、パートナーに恵まれたことが勝因。強く（早い打球）を打てるに勝つことはないが失点する確率も高くなる。特にエースをねらうより2・3球ラリーを続け相手を一歩動かすことを心掛けた。
- ② 10年ぐらい前、毎日が日曜日になった。家庭で粗大ゴミ・濡れ落ち葉になりたくない、そんな思いで憩いの溜まり場にしたい健康指向のテニスクラブを仲間数人と立上げ今はリハビリを兼ね週2回同クラブで練習会に参加している。

[女子Aクラス]

石亀 幸子・**千葉 みち子**

- ① 13組のエントリー！！強豪揃いのお顔ぶれを拝見しただけで、私の大きな体に震えがきました。勿論作戦など浮かぶはずもなく、唯々無心でボールを追うのが精一杯でした。



終ってみれば7試合の消化です。心身共に疲労が残りましたが、皆様のお蔭で思い出の増えた、秋の一日となりました。

- ② ペアーとは別々のクラブに所属していますので、一緒に練習は殆どありませんが、お互いに苦手なプレーを助け合える様に練習にて努力しています。
- ③ 膝との戦いも15年となります。続ける事が意味あると信じて、テニスを楽しんできました。夢は決して老いませぬ！！前を見据えて、良き仲間と共にこれからも進んでいきたいです。

[女子Bクラス]

石田 泰子・高橋久美子

- ① 私にとって優勝という二文字は、今までのテニス人生に無縁のものでした。今回の勝因は、石田泰子さんという息の合ったパートナーに恵まれた事と、出来るだけ深いボールを打つように心がけた事だと思います。又、自分達より強い相手にもあきらめずにボールを追いかけ、繋いで～繋いで・・・チャンスを待つという、連係プレーが良かったと思います。只、他のペアーもとても強く、ほとんど『差』はなかった様に思います。ほんの少しの運が私達ペアに勝利をもたらしてくれたのだと思います。これを励みにして、これからも健康に気配りして楽しいテニスを続けていきたいと思っています。
- ② 週1回の泉パークタウンでのテニスレッスンと週1～2回程度サークル仲間達とのゲーム練習をしています。
- ③ 40歳代で初めてラケットを握りましたが、子育てをしながらのお遊び程度でした。4年程前から基本のテニスレッスンを受ける様になり、テニス仲間とのゲームも重ねるうちにテニスの楽しさ、難しさを実感してきました。これからも年齢相応に夫婦共通の趣味として、健康維持のために楽しくテニスが続けていきたいと思うと共に、いきいきには目標としたい方々が沢山いらっしゃるの、追いつける様に精進したいと思っています。



[女子Cクラス]

佐々木 徳子

- ① 体調不良だった自分をカバーし頑張ってくれたパートナーとのコンビネーションがうまく取れたこと。
- ② 週に2～3回は町のクレイコートにて、ゲーム主体で練習しています。
- ③ パートナーに頼り過ぎるところがあるので（減量と体力増進に努力して）自信を持って、失敗しても、思い切ってプレー出来るようにしたい。諸先輩のテニスの関わり方を見習い、無理をせず長くテニスを続け多くの方々との出会いを大切にしていきたい。

矢戸 恵子

- ① 試合当日体調が良かった事とパートナーのカバーがあり楽しんで平常心でできた事。
- ② 週三回位、お遊び程度です。もっと、きちんと基礎練習ができれば良いと思っています。
- ③ 郡部では対戦相手が決まってしまう、進歩が感じられず、いきいきで沢山の刺激を味わいながら楽しませていただいています。

【県南ブロック交流会】

3月11日発生した東日本大震災により私たちは、断水・停電・石油不足・通信不能などを突然、経験しました。普段は当たり前と思っていた水・電気・石油そして通信のありがたさを痛感し、またいかに無駄遣いしているかも反省したものです。そして何よりもその後、テニスが再開できたときの喜びは本当に大きいものでした。震災被害で大変なご苦勞をされている会員の方も、多少の困難はあっても是非テニスは続けて頂きたいものです。さて今年の交流会は秋の一回となりましたが次の通りおこないました。

1. 月 日 10月28日(金)

2. 場 所 グリーンピア岩沼 オムニコート6面使用

3. 参加者 総数39名 県南25名 仙台14名 (男子24名、女性15名)

今までの最多の参加者数で初参加も11名と盛会であった。コート不備のため場所を変更したために一部の方に迷惑をおかけいたしました。天候は秋晴れのスポーツ日和となり、交流を一日楽しんだ。戦績は赤15勝、白17勝と伯仲した結果となった。

**【対いわき交流(第25回)大会】**

24年間続いた交流大会は大震災と原発事故の影響で中止となりました。いわきベテランテニスクラブ・鶴川善光会長より「会員の被災が大きく真に残念ですが中止します」との連絡を頂きました。平成24年は「みやぎいきいき連盟」主催の予定でしたので、9月に実施予定をしております。いわきVTCの会員の皆様が復興復旧され、再び一緒にテニスを楽しめるようになることを祈願しております。

9月15日(土)～16日(日)岩沼GPで予定します。

今回は、「みやぎいきいき連盟」会員の多数参加を特にお願いします。

台風15号の影響を心配しながら、例年より早い時期の9月21日（水）～22日（木）に新青森県総合運動公園で開催されました。当日は台風による雨が予想されたため、屋外テニスコートから室内アリーナに変更され、開会式では今回の震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷の後、会長よりテニスを楽しんでくださいとのご挨拶がありましたが、アリーナの床に苦労しました。

今回の参加者は、当初予定の156名から秋田・岩手県が不参加となったため、約3分の2の104名（男子63名、女子41名）（青森40名、福島25名、山形24名、宮城15名）でした。試合方法も当初の6ゲーム先取ノード／40分打切りから10ポイント先取／15分打切りに変更。初日試合終了後は、会場から15分程の浅虫温泉「南部屋」で18時30分から懇親会が開催され、選手83名と青森県テニス協会会長殿他含め総勢87名が出席。アトラクションでは地元の獅子踊りに合わせてほぼ全員が列になり踊りあかしました。

翌日は朝方まで降っていた雨も止みましたが予定通りアリーナで、男子は130歳・140歳の3ブロック1位抜け決勝リーグ戦、女子は130歳の2ブロック1・2位抜け決勝トーナメントが6ゲーム先取、セミアドでおこなわれました。

宮城の成績：○ 女子120歳 準優勝 千葉 みち子・山崎 由美子

○ 女子130歳 準優勝 置田 眞樹子・菊地 佳子（山形）

□ 男子140歳 優勝 村上 寛・加藤 精一

□ 男子150歳 優勝 土生 寛・菊地 功

今年（平成24年度）は、岩手県で開催予定です。声掛けあって多くの方々の参加をお願いします。



第24回ねんりんピック2011熊本大会に参加して

—大震災の励まし・支援に感謝して—

サプライズ：「熊本市特別賞」受賞

坂本 政祀

今年の第24回ねんりんピック大会は平成23年10月15日（土）～18日（火）に九州の熊本市を中心に盛大に開催されました。開会式は熊本県陸上競技場のK・Kウイングスタジアムで開催され、テニス競技は熊本県総合運動公園テニスコートで開かれました。宮城県の手選手団は約130名で、政令指定都市を含めて総勢約1万名のシニア選手が一同に集まりました。

入場行進では来年の開催地が宮城県・仙台市であることから、「大震災支援感謝と来年度の開催アピールの横断幕」を持って入場行進しました。宮城県と仙台市の選手代表が開会式で全国からの東日本大震災への励ましと支援に感謝して御礼の詩を会場の皆様に伝えました。大震災を乗り越えて参加して来たことに対して大歓声を受けました。

宮城県のテニス競技への参加チームは「がんばるぞ宮城」で、選手は70歳男子は坂本政祀・田中 稔、60歳男子は菊地昭夫・小幡勝利、60歳女子は渡部静江・布留川三枝子で、監督は坂本が兼任しました。



初日は良い天気で大いに若さ溢れるプレーを発揮して、テニスを存分に楽しみました。試合は16ブロックに別れ4チームでのリーグ戦が展開され激戦が続きました。宮城県は第一試合では地元熊本県Bチームと対戦し1-2で、第二試合は広島県に1-2で、第三試合は三重県に0-3で敗れました。リーグ戦の結果は0勝3敗で残念ながら4位でした。第一試合では70歳男子(4-2)が勝ちましたが、60歳女子が敗れ、60歳男子は惜しくもタイブレーク(3-4)で敗れました。第二・三試合は70歳男子(4-2)の1勝のみでした。

	熊本県B	宮城県	三重県	広島県	勝率	順位
熊本県B		2-1	1-2	1-2	2/3	2
宮城県	1-2		0-3	1-2	0/3	4
三重県	2-1	3-0		2-1	3/3	1
広島県	2-1	2-1	1-2		2/3	3

二日目も好天に恵まれ各リーグ4位のトーナメント戦に進みました。トーナメントの1回戦では鹿児島県との対戦になりました。全チームが快勝し3-0(4-0, 4-0, 4-3)と大差で勝ちました。2チームが4-0というスコアで勝利し、前日の連敗を吹き飛ばす快挙となりました。試合後に鹿児島県の選手に聞いたところ今年は地域ごとに順番で種子島に回ってきたので、やっと島内でメンバーを揃えたそうで、参加できて満足ですと話していました。

2回戦では政令都市の千葉市と対戦しました。第一試合70歳男子がタイブレーク(3-4)で敗れてしまい、第二・三試合も敗れ0-3の完敗でした。ところが、初日終了後に、同胞の仙台市が初日のリーグ戦で1勝2敗なのに4位で終わってしまい、翌日の試合で我々と同じ4位トーナメントになったと聞きまさかと驚いてしまいました。さらに、驚いたことに二日目の4位トーナメントで仙台市は1回戦で70歳が勝ちましたが1勝2敗で敗れてしまいました。宮城県は2回戦まで進めたので、少しは満足できたのかなと思っています。



第4位トーナメント

1回戦 : 宮城県3-0鹿児島県

準々決勝 : 宮城県0-3千葉市 ※優勝=千葉市

今回の参加で痛感させられたことは参加する選手の健康管理の問題でした。

選手団の出発は仙台駅前を4台のバスで午前8:30出発し6時間掛けて羽田空港へ、2時過ぎに羽田空港を発ち、6時ころ福岡空港に着き、さらに貸切バスで熊本に向かい午後8:30に熊本市のホテルに着きました。仙台から12時間の行程で大変疲れました。その後ホテルで夕食を頂きました。

次の日は監督会議と開会式後、ホテルを移動、そして試合当日は午前8:50の試合開始に合わせて朝食が午前5:30、ホテル前のバス出発が6:50、練習は8:10~20と朝早く起きなければならず起床が気になって落ち着いて眠れませんでした。試合二日目も同じ日程でしたので、なかなか試合に集中できず成績も振るいませんでした。大変辛い日程でした、ちなみに東北の各県で東京までバスを使った県はありませんでした。

参加した選手は試合での体調が万全ではなかった宮城県チームの方々へ、遠路大変ご苦労様でした。

「熊本市特別賞」を渡部静江さんが受賞♪

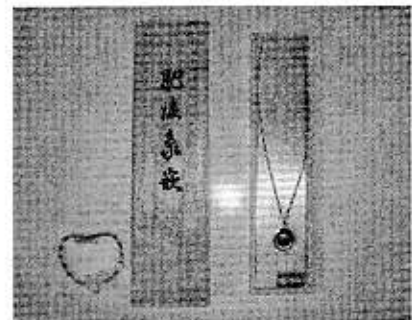
ねんりんピック熊本大会では熊本城を造営した初代城主の「加藤清正侯」を冠した「熊本市特別賞」を設けました。清正侯と同じ誕生日の出場選手に授与されました。宮城県の渡部静江選手他5名が総合開会式後の熊本市開始式で受賞が発表され、まさに「サプライズ」でした。写真に示される熊本名産の肥後象嵌（ひごぞうがん）が贈られました。



肥後象嵌（ひごぞうがん）とは！

日後象嵌は、加藤清正に仕えた鉄砲を作る職人だった林 又七（はやし・またしち）という人が、鉄砲をきれいな模様で飾ったのが始まりと言われていて、400年以上の歴史があります。

黒い鉄に刻みこまれた模様や文字がとてもきれいです。



【追伸】

総合開会式は熊本県総合運動公園の「K・Kウイング」で開催されました。入場行進のために隣の補助陸上競技場に選手団が集合し、そこから順番に各県ごとに「K・Kウイング」に向けて行進を開始しました。宮城県の順番は後方でしたので行進して行く他の県の選手団を見送っていました。我々の直ぐ側を東京都の選手団が通り過ぎて行きました。その時、我々に元気に声を掛けてきた人がいました。「大震災では大変でしたね、頑張ってください」そのあとに「私は今東京に来ていますが震災時は石巻にいました」と言って飄々として行進して行きました。震災後、東京に避難してきていて頑張って東京都の代表になった人なんだと感心させられました。

また、1位トーナメントで優勝したのは千葉県チームでした。主力選手の土屋選手は大会直前に名古屋市の東山公園で開かれた「オールジャパン」で70歳ダブルスに優勝して日本一になったそうです。そして優勝したその夜名古屋を発って熊本に直行したそうです。開会式前の監督会議に集合した補助陸上競技場で仙台市の松山選手と一緒に土屋選手に会い名古屋で日本一になってきたと聞き驚きました。松山選手はオールジャパンで、私は東日本ベテランで対戦して顔見知りでしたのでオールジャパンの優勝を祝福しました。

ねんりんピックで優勝したチームに国内のトップ選手が出場していることに感心しました。

平成23年度 新会員の紹介

質問①：テニスを始めたきっかけは、どのような内容でしたか！

質問②：どのようなテニスを楽しんでいますか！

質問③：その他（テニスに関すること）

武田 隆一

① 昭和47年、東京の勤務地中庭にあった駐車場にお手製のコートがあり、当時アウトドアのスポーツをと思っていた私にとってスムーズに入ることができました。

只、参加人員が多いことと一面のスペースのため玉に触れる時間も少なかったので、本格的にテニスに取り組んだのは、それから6年後、仙台にJターンし、初めてクレーコートで

の経験でした。会社のレク施設として4面と環境に恵まれたこともあり、メキメキ？と上達し？その翌年には会社内の大会にも参加するまでになりました。

- ② 会社内での全国テニス大会を目標としてテニスにはまってしまった時期には、Bクラスでしたが、パートナーに恵まれたことによる唯一の優勝の感激も味わいました。現在は、早朝テニスの一会員としての活動をメインとして楽しませてもらっております。早朝テニスの活動は、朝5時から7時の2時間ですが4月から11月まで週4回程度の活動日があり、多くの会員と年会費一万円と格安のことからおすすめのコースです。
- ③ 某先輩にテニスのプレー中はね3C（コントロール・コンセントレーション・コンフィデンス）に心掛けるよう指導を受けましたが、生来のテニスセンスがなかったこと又ここ数年間は休幹に障害を来たしたことにより、思うようなプレーは全く出来なくなってしまいましたが、今後は無理のない生涯テニスを目指したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

畠山 久

- ① 運動不足解消のため、40歳頃に、団地内のテニスクラブに入部しました。
- ② 同クラブは、毎週日曜日に2時間程度行い、主にテニスを楽しむ事が中心で、練習して上達を図るよりも、直ぐにゲームを行い、ゲームを楽しんでいます。メンバーは全員60歳以上で、のんびりと、無理せずに、和やかにゲームをしています。従って、長年テニスをしている割には、テニスの上達はなかなか難しい感じです。自己流でゲームを行い、練習は15分程度です。
- ③ テニスは、ボールを良く見ることが、大切と思いますが、私の場合は、雑念が入り、なかなか、集中できない場面も多く、テニスは奥が深く、メンタル面が安定していることが大切と思っています。

安達 松代

- ① スキーを楽しんでいた仲間に、早朝テニスクラブ（ダックステニスクラブ）の塩釜会長様がおりました。塩釜会長様よりのお誘いで始めました。始めた1ヶ月間は、早朝テニス1時間して帰宅し朝食後会社へとハードな毎日でしたが、ラリーができるようになったり試合に参加出来るよう、段々にテニスにはまって現在に至っています。
- ② 昨年（2011年）9月定年するまでは、土曜日のウイークエンドテニスを楽しんでいました。健康維持とストレス解消のテニスです。これからは、今までと違う時間でテニスを楽しめそうなので期待しています。
- ③ 昨年11月初めて交歓会に参加させていただきました。戸惑うばかりでしたが、会員様のそれぞれテニスに対するの取り組み方に接してとても楽しかったです。

佐藤 茂子

- ① 下の子が小学2年生になって、すこし時間に余裕が出来た頃に同級生（下の子）のお母さんに誘われてスクールに通い始めました。
- ② 年数を重ねる事で、試合にも出られる様になり、お友達にも恵まれて、今日まで続けられる事が出来ました。
- ③ 震災の後、気持ち的にトーンダウンしていた時に、偶然役員さんにお会いしたのを機に、入会の手続きをお願いしました。11月に初めて参加させて参加させていただきましたが、皆さんの元気な姿を見て、自分も『頑張らねば』と思いました。これからも宜しくお願いたします。

- ① テニスとの出会いは、昭和60年ころ、東京都府中市の職員にテニスコートがあり、妻から「練習試合のメンバーが足りないから来て」と言われて、ルールも知らないままネットの前に立ったのが最初で軟式テニスでした。その後、転勤先で職場レクとして硬式テニス大会があり硬式も手にしたいのですが転勤と仕事の忙しさであまりラケットを握っていませんでした。
- ② 昨年退職した途端、椎間板ヘルニアが再発したり、花粉症に初罹患や低体温症など体調不良が続き、病院科通いの連続でした。そこで一念発起し、取り敢えず、医師の勧めもありヘルニア対策として体重減量と腰部筋肉の強化するため、経験のあるテニスが良いと思い、仙台市広報を見て市の硬式テニス教室に入り、現在は、SCSサンピテニスクラブにも入会し、週2～3回を楽しんで健康管理に努めています。ちなみに、永年の不摂生とストレスで蓄えた脂肪分たっぷりの身体も減量10kgの効果がありました。
- ③ 昨年秋、参加させていただいた交流試合において、私が経験も少なくミスだらけでラケットをブンブン振り回しボールがバックラインをはるかに超えるのを見た私のパートナーは、「いいよ、いいよ」と言葉を掛けてくれるけど周りから「若いね」との非難めいた声も……。本連盟を紹介していただいた口高登志子さんにも報えるためにも「大人になったね」を目指して頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

知ってましたか！ワンポイントルール

宮城県テニス協会常任理事

青木 興一

質問1. サービスラインを越えない助走サーブはOKですか？

回答1. 『サーバーは、サービスの開始から終了までの間、歩いたり走ったりして、立っている位置を変えない。しかし、足を少し動かすくらいは構わない。』という規定があり、助走サーブはフットフォールとなる。ステップインは多少の差はあれOKとなる。

質問2. カウント違いでプレーを進行させて後で間違いと知った場合、何処まで戻れるのですか？

回答2. 『テニス規則にかかわる間違いが発見された時は、間違いに気づくまでに行われたポイントは、原則として全て有効とし、下記に従ってその違いを訂正する。』として9つの例が挙げられる。

「サーブの順番」「レシーバーの位置」「試合方法の間違い」などに関して、間違いが判明した時点でそれまでのプレー結果は全て活かして正しい順で始める事になる。

しかし、この質問に対しては次の解決策が適当と思われる。

「スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。

ゲームスコアが分からなくなった時も同様に処理する。」

例えば、ゲームの中では第一ポイントほどちがが取ったか、第二ポイントは・・・と確認し合い合意できないポイントが出たら、逆に直前のポイントから前のポイントへとさかのぼり確認する。

合意できないポイントに行き着いて解決できないときは合意できたポイントを構成したスコアから試合を再開する。この時サービスのサイドも参考にする。

この方法で合意出来ない場合は、ロービングアンパイヤー、レフリーを呼び解決する。ただし、スコアの誤りが試合終了後にわかった場合は、その誤りは訂正できない。チェアアンパイアがつかない試合では、両プレーヤー・チームが勝敗を認めて握手した時点で試合終了である。

質問3. 最近に変更&追加されたルールを紹介して下さい！

回答3. ここ数年は、基本的なルールの変更はされていない。皆様ご承知の事と思いますが、近年試合時間の短縮のため、ショートセット、マッチタイブレーク(7ポイント、10ポイント)、ノーレット・ルールの採用が認められている。

但し、採用に当っては要領に明示しなければ成らない。ただ、平成23年度に追加されたものとして、

10歳以下のテニス大会について、使用するボール・コート・ラケットに応じて3つのステージに分けて行うことが規定されている。



—東日本大震災・チャリティーテニスイベント—

(投稿者) 佐々木 正敬

「被災地へエールを送ろう！」

2011年5月1日・山梨県甲府市の「石井テニスアカデミー」において「東日本大震災チャリティー・テニスイベント」が開催されました。

この「イベント」は石井弘樹プロが主催し、日本テニス界のトッププロへ呼びかけた結果、趣旨に賛同した下記※の豪華メンバーが終結し盛大に開催されるに至りました。

この「チャリティーイベント」では、トッププロ同志のエキジビジョンマッチ・プロとのラリー・プロのサイン会・愛用品のオークション・テニスグッズ販売等盛り沢山の内容が実施され詰めかけた来場者(約350名)は大興奮状態でした。

会場では子供達が募金箱を持って会場を巡回する光景も見られました。

当日のイベントで集まった義援金は日本赤十字社を通じ被災地へ贈呈されました。

投稿者自身の愚息も被災地代表として、このイベントへ招待された経緯もあって私自身も一緒に参加して参りました。

(愚息と石井プロとは同じ職場の在籍した時があり以前から交友あり)

実際に参加して感じたことは、トッププロの参加で開催された。このイベントが大盛況の内に終了したのは事実であるが、現役プロにとってこの種のイベントは本来、生活の糧を得る場であり、選手仲間同志やファンとの交流の場でもある筈なのに、表題スローガンの基に積極的に参加された現役プロの行動力や知名度・集客力・意識の大きさは被災地の多くのテニスファンの心を十分に和ませたものと思います。(参加プロ10名・アマ1名)



—各選手の主たる戦歴—

- ・鈴木 貴男 (ATP 最高ランキング 102位 デ杯日本代表 全日本単複優勝 全豪全英出場)
- ・木村 剛一 (ATP 最高ランキング 134位 デ杯日本代表 全日本単複優勝 全豪出場)
- ・岩渕 聡 (全日本単2連覇 複8回歴代最多優勝 AIGジャパンオープン複優勝)
- ・増田健太郎 (全日本2連覇 デ杯日本代表コーチ)
- ・山本 育史 (デ杯日本代表 全日本単2連覇 全日本プロ2連覇)
- ・石井 弘樹 (全日本複優勝 全日本ランキング 5位)
- ・伊藤 竜馬 (ATP 最高ランキング 162位 現日本ランキング 3位 2012年全豪3回戦進出)
- ・神尾 米 (WTA 最高ランキング 24位 全豪全仏全英3回戦進出 全日本単複優勝)
- ・宮内 美登 (WTA 最高ランキング 115位 全豪全米出場 全日本単複混優勝)
- ・橋 清孝 (福島県=デ杯日本代表 ユニバシアード日本代表)
- ・佐々木正明 (宮城県=宮城県国体選手 元石井テニス・アカデミースタッフ)

事務局からの連絡

○入会・退会の手続きについて

入会希望者は、当連盟の事務局または役員に連絡して「入会申込書」と専用「年会費払込用紙」を入手し、申込み用紙に必要事項を記入して、事務局または役員に送付（直接の手渡し可）すると共に、払込用紙にて年会費（個人会員：2000円、家族会員：3000円）を振り込んでください。

年会費を振り込まれた方に、事務局より当年度の「会報」（含む：年間行事予定表・各種大会要領・大会申込み用ハガキ・連盟規約）・会員名簿などを送付します。これで、入会手続きが終了です。

☆年会費を納入しませんと当連盟の各種行事に参加できません。

退会したい場合は、ハガキまたはFAXにて事務局または役員に退会する旨連絡してください。年会費を9月末までに納入しませんと退会扱いとなり、当連盟の各種行事に参加できません。また、次年度の「会報」なども送付されません。

○年会費納入について

年会費は、この会報が届き次第、忘れない内に専用の「年会費払込用紙」にて納入をお願いします。年会費納入の有無の確認手続き上、混乱を避けるため必ず払込用紙にてお願いします。現金での手渡しや会員の通帳から連盟の通帳への振込みはしないで下さい。

☆納入締切日（9月末）を過ぎても振込みがない場合は、その後の連盟主催の各種行事、**Weekday** 交歓会等に参加できません。

連盟からの連絡事項や次年度の「会報」など送付しません。必ず締切日までに忘れずに納入してください。

各会員には「会報」と一緒に確認して同封しているのですが間違い無いと思われそうですが、もし同封されていない時には事務局宛、または役員に連絡してください。また納入したかどうか忘れた方は事務局に問い合わせ確認をして下さい。また必ず振込みした時の「領収書」を1年間保管して下さい。間違い(手違い)を防ぐためにも是非お願いいたします。

諸行事案内と参加申込み方法

当連盟主催の行事は、二つに大別されます。「予め参加申込みの必要な大会」と、その必要のない「自由参加の Weekday 交歓会」です。これら「年間の諸行事」等について、4月総会のご案内にお知らせいたします。

これら「年間の諸行事」等のうち、申込締切りが本会報の発行前となる、大会については、「大会要領」「参加申込ハガキ」を「年間の諸行事」と共に、3月28日総会のご案内時にお知らせいたします。

総会において「年間の諸行事」「大会要領」「参加申込ハガキ」等が決定・確認されます。この結果を会報の「年間の諸行事」「大会要領」「参加申込ハガキ」としてお届けいたします。

予め参加申込みの必要な大会に参加の方法は、大会要領をよくご覧になり、行事名・開催期日・会場・時間・参加費・申込み方法・申込締切日等を確認のうえ、私製「申込ハガキ」（50円切手を貼る）又は「官製ハガキ」に必要事項を記入して、必ず締切期日までに届くよう投函してください。

1 予め参加申込みの必要な大会

これらの大会には、下記に示すように、原則としてパートナーと「ペア」で申込む大会と「単独」で、申込む大会がありますので、各大会の要領をよく見て申込んでください。単独で申込む大会の場合のペアや組合せは、年令や技量を勘案して役員会で決めることになります。

○宮城県春季・秋季テニスマスターズ大会【ペア】	○東北マスターズ大会（岩手）【ペア】
○宮城県南・県北交流会【単独】	○技量別ダブルス大会【ペア】
○春季連盟祭り（団体戦）【単独】	○秋季連盟祭り【単独】
○年齢別ダブルス大会【ペア】	○冬季混合ダブルス大会【単独】
○混合ダブルス大会【ペア】	○新春連盟祭り【単独】
○対いわき VTC 親善交流大会	○年齢別室内ダブルス大会【単独】

- ◇ 各行事の申込締切日は、それぞれの「大会要領」や「年間行事予定表」に記載されていますので、忘れないようご注意ください。
- ◇ 参加、不参加の混乱を避けるため、申込みは、本人が私製「申込みハガキ」で行なってください。家族会員の方は連名で結構です。
- ◇ 雨天時で開催期日または会場が変更された場合等のご案内は、別途お知らせします。

2 自由参加の Weekday 交歓会

交歓会は、従来どおり自由参加とし、時間は、午前10時から午後5時までです。都合の良い時間にお誘い合わせの上ご参加ください。会場は、次ページの「年間行事予定表」に示してあるように、4つの会場を使用します。参加費は500円です。

なお、試合方法は、連盟の趣旨（会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める）を踏まえ、試合毎に出来るだけ、パートナーや対戦相手を変える方法で行なうよう、ご協力をお願いします。新入会員の方や会員に知り合いの少ない方、体力や技量などに少々自信がなくて知らない人との試合は、どうも・・・と思っている方も、気を楽に持って参加してください。パートナーや対戦相手で不安でしたら、当日の担当役員に申し出てください。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

3 連盟主催の大会の他に、宮城県テニス協会・東北テニス協会が主催する大会

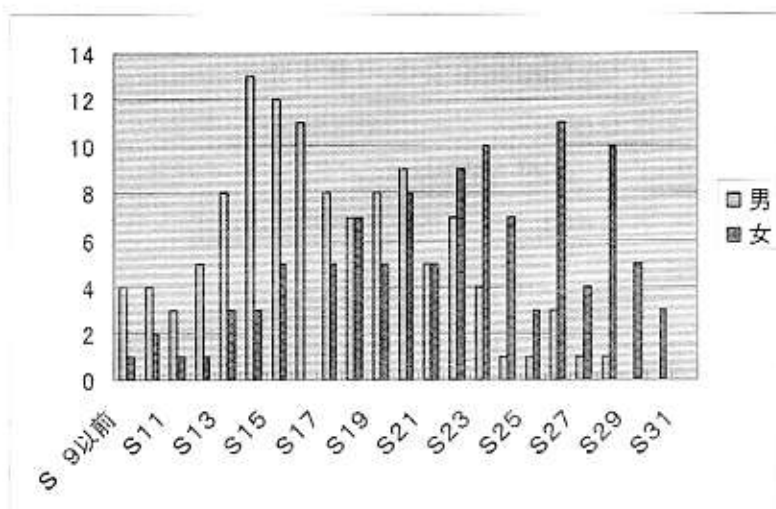
○春季トーナメント（4月）、○東日本オープンベテラン（5月）、○国体予選（6月）、
○県体シングルス（7月）、○県シングルス選手権（8月）、○東北ベテラン（8月）、
○秋季県テニス選手権（9月）、○県体ダブルス（10月）、○室内選抜ダブルス（1月）、
があります。詳細について、県テニス協会または青木興一（県テニス協会常任理事：251
-6411）まで、お問合せください。

関連テニス協会の連絡先

仙台市テニス協会：022-234-4592
981-0913 仙台市青葉区昭和町4-9-303 事務局
宮城県テニス協会：022-292-1300
983-0852 仙台市宮城區榴岡2-2-8コーポラ童子201
東北テニス協会：0178-37-3132
031-0081 八戸市柏崎2-4-17
日本テニス協会：03-3481-2321
150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念館4F

生年別の会員状況

生年	男性	女性	
S9以上	4人	1人	75歳以上
S10	4	2	
S11	3	1	
S12	5	1	70歳以上
S13	8	3	
S14	13	3	
S15	12	5	
S16	11	0	
S17	8	5	65歳以上
S18	7	7	
S19	8	5	
S20	9	8	
S21	5	5	
S22	7	9	60歳以上
S23	4	10	
S24	1	7	
S25	1	3	
S26	3	11	
S27	1	4	55歳以上
S28	1	10	
S29	0	5	
S30	0	3	
S31	0	0	



現在の会員年齢状況は棒グラフに示すように、60歳から64歳までは女性が男性を圧倒的に上回っています。しかし反面、70歳から74歳までは男性が女性をかなり上回っています。また75歳以上は女性が非常に少ない。近年の各行事参加状況は60歳から69歳の男性は3大会・連盟祭り・Weekday 交歓会など出席率が悪いようです。今年は是非多くの参加をお願いします。また、75歳以上の諸先輩の方々も体調の許す限り、健康維持のためにも遊びに来てください。新会員も大分増強気味ですが退会される方もそれを上回っている状況です。若い会員の入会を希望して平均年齢も若くなって欲しいものです。

事務局

平成24年度 年間行事予定

期日	行事名	会場	申込締切日
4月13日(金)	県南交流会	グリーンピア岩沼	4月5日まで連絡
4月23日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
5月3日(木)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	4月23日必着
5月24日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
6月7日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
7月7日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	6月27日必着
7月17日(火)	Weekday 交歓会	南インターTC(4面)	自由参加
8月20日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン・テニスクラブ(6面)	自由参加
9月1日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	8月20日必着
9月15日・16日	対いわきVTC親善大会	グリーンピア岩沼	7月20日必着
9月20日(木)	県北交流会	松島運動公園コート	9月10日必着
9月25日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
10月2日・3日	東北マスターステニス大会	盛岡市太田スポーツセンター	8月20日必着
10月23日(火)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
10月26日(金)	県南交流会	グリーンピア岩沼	10月16日必着
11月14日(水)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
12月7日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
12月8日(土)	連盟祭り(団体戦)	シェルコムせんだい(8面)	11月28日必着

平成25年

期日	行事名	会場	申込み締切日
1月16日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい(6面)	1月6日必着
2月13日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい(6面)	2月3日必着
3月11日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(6面)	自由参加
3月27日(水)	春季連盟祭り団体戦(総会)	シェルコムせんだい(6面)	3月17日必着

○上記の網掛けに書かれた行事に参加する場合は、前もって申込みが必要。詳細は次ページ。

○次の大会も開催されます。これにもご参加いただけます。男女とも60歳以上が対象です。

期日	行事名	会場	申込み締切日
4月15日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園コート	2月末締切
4月28日(土)	県テニスマスタース春季大会	シェルコムせんだい	4月11日必着
11月24日(上)	県テニスマスタース秋季大会	七北田公園コート	11月3日必着

参考：ねんりんピック宮城・仙台2012は平成24年10月13日(土)～16日(火)開催

○宮城県テニスマスタース春季・秋季大会は、『ねんりんピック宮城県代表の選考会』を兼ねており、昨年の秋と春の「県テニスマスタース」の成績により、24年の選手が推薦されます。今年秋の「県テニスマスタース大会」は、25年の選手選考の参考大会となります。

○仙台市高齢者いきがい健康祭りは、25年『ねんりんピック仙台市代表の選考会』の大会となります。詳しい案内は、「市政だより」8月号に掲載されます。

応募要領は、市民センター・体育館・スポーツ施設・コミュニティセンター等に置いてます。

成24年度 各種ダブルス大会開催要領

年齢別ダブルス大会

期日：平成24年5月3日（木）9：00～17：00（8：45分まで集合）

会場：七北田公園コート（オムニコート8面）

種目：〔女子〕110以上、120以上、130以上

〔男子〕120以上、130以上、140以上

〔女子・男子〕シニアクラス※シニアクラスの参加資格は原則70歳以上とする。

（平成24年12月31日現在の満合計年齢とします）

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円／人（当日会場にて徴収します）

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。但し、参加組数により変わります。

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組はパートナーを替えるか、若い年齢種目に出場してください。尚単独での申込みも可ですがパートナーはご一任ください。

申込受付：4月3日～ 締切口：4月23日必着

混合ダブルス大会

期日：平成24年7月7日（土）9：00～17：00（8：45分まで集合）

会場：七北田公園コート（オムニコート8面）

種目：〔混合ダブルス〕 Aクラス Bクラス Cクラス

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円／人（当日会場にて徴収します）

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。但し、参加組数により変わります。

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組はパートナーを替えるか、クラスを変更して出場してください。尚単独での申込みも可ですがパートナーはご一任ください。

申込受付：6月7日～ 締切口：6月27日必着



技量別ダブルス大会

期日：平成24年9月1日（土）9：00～17：00（8：45分まで集合）

会場：七北田公園コート（オムニコート8面）

種目：[女子] Aクラス、Bクラス、Cクラス

[男子] Aクラス、Bクラス、Cクラス

[女子・男子] シニアクラス※シニアクラスの参加資格は原則70歳以上とする。

（平成24年12月31日現在の満合計年齢とします）

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人（当日会場にて徴収します）

表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します。但し、参加組数により変わります。
入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組はパートナーを替えるか、クラスを変更して出場してください。尚単独での申込みも可ですがパートナーはご一任ください。

申込受付：8月1日～ 締切日：8月20日必着

連盟祭り（団体戦）

期日：平成24年12月8日（土）9：00～17：00（8：45分まで集合）

会場：シェルコムせんだい（オムニコート8面）

種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子・男子・混合の各ダブルスペアールをつくり種目毎の団体戦を行います。

参加費：1000円/人（当日会場にて徴収します）

表彰：各チーム毎の成績を集計し、優勝・準優勝・敢闘賞の順に表彰、賞品の授与があります。

参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。（単独での申込みとなります）

申込受付：11月8日～ 締切日：11月28日必着



冬季混合ダブルス大会

期日：平成25年1月16日（水）9：00～17：00（8：45分まで集合）
会場：シェルコムせんだい（オムニコート6面）
種目：混合のダブルス Aクラス、Bクラス、Cクラス
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。パートナーは1回毎に変わるものとします。尚、パートナーは役員会にご一任ください。
参加費：700円/人（当日会場にて徴収します）賞品はありません。
参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記して申し込んで下さい。（単独での申込みとなります）
申込受付：12月16日～ 締切日：1月6日必着

年齢別室内ダブルス大会

期日：平成25年2月13日（水）9：00～17：00（8：45分まで集合）
会場：シェルコムせんだい（オムニコート6面）
種目：[女子] 55歳以上、60歳以上、65歳以上
[男子] 60歳以上（55歳以上含む）65歳以上、70歳以上
平成24年12月31日現在の満合計年齢とします。
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。パートナーは1回毎に変わるものとします。尚、パートナーは役員会にご一任ください。
参加費：700円/人（当日会場にて徴収します）賞品はありません。
参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記して申し込んで下さい。（単独での申込みとなります）
申込受付：1月13日～ 締切日：2月3日必着

春季連盟祭り（団体戦・総会）

期日：平成25年3月27日（水）9：00～17：00（8：45分まで集合）
会場：シェルコムせんだい（オムニコート6面）
種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦
試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子・男子・混合の各ダブルスペアーをつくり種目毎の団体戦を行います。尚、当日連盟の総会が開催されます。
参加費：500円/人（当日会場にて徴収します）賞品はありません。
参加申込：所定の「申込みハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記して申し込んで下さい。（単独での申込みとなります）
申込受付：2月27日～ 締切日：3月17日必着

平成23年度 年間行事実績

期日	行事名	会場	参加(23年度)	参加(22年度)
5月14日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	66名	79名
5月26日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	52名	雨天中止
6月16日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	50名	51名
7月2日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園	66名	88名
7月12日(火)	Weekday 交歓会	南インター	27名	37名
8月22日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン	雨天中止	40名
9月17日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園	75名	88名
9月27日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園	50名	雨天中止
10月17日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン	45名	雨天中止
11月12日(土)	秋季連盟祭り(団体戦)	七北田公園	85名	82名
11月17日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	34名	47名
12月2日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園	37名	—
1月18日(水)	新春連盟祭り(団体戦)	シェルコム	58名	66名
2月15日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコム	63名	58名
3月22日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	40名	震災中止
3月28日(水)	団体戦(総会)	シェルコム	85名	—

※網掛けは三大大会

平成23年度 対外関係行事実績

期日	行事名	会場	参加(23年度)	参加(22年度)
9月21日(水) 22日(木)	対いわきVTC 親善交流大会	新舞子浜 (平コート)	震災のため 中止	みやぎ45名 いわき21名
9月25日(日) 26日(月)	東北マスターズ テニス大会	青森県 総合運動公園	宮城県 男6名 女9名	宮城県男10名 女4名
10月15日(土) ～18日(火)	ねんりんピック 熊本大会	熊本県 総合運動公園	予選リーグ4位 決勝：準々決勝敗退	予選リーグ2位 決勝1回戦敗退
10月28日(金)	県南交流会	グリーンピア岩沼	14名	34名
11月27日(日)	県テニス マスターズ秋季大会	七北田公園	64名	34名

その他、「仙台市高齢者いきがい健康祭りテニス大会」、県テニス協会主催行事、東北テニス協会主催行事、日本テニス協会主催行事、日本シニア連盟主催行事等に会員諸氏が参加され、日頃の練習の成果を存分に発揮され大活躍をされましたのでご報告いたします。

平成23年度
みやぎいきいきテニス連盟経費決算書

平成24年度
みやぎいきいきテニス連盟 経費予算案

みやぎいきいきテニス連盟規約

〈 総 則 〉

第1条 (名 称)

本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員を以て構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

〈 会 計 〉

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活 動 費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。但し、特別会員は、これを免除される。年会費は総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案並びに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示されていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入

なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

〈 役員・役員会・総会 〉

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重任は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員の互選によって会長1名を選任する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員が行う業務の監査を行う。任期は2年とし、再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることは出来ない。

第12条 (役員会)

役員会は、役員会で定めた専門部会と事務局をもって構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画案・予算案及び活動報告案・決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第14条 (事 務 局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。事務局は、会員の動向・連絡調整・会計等の任務を掌理する。事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

〈 付 則 〉

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

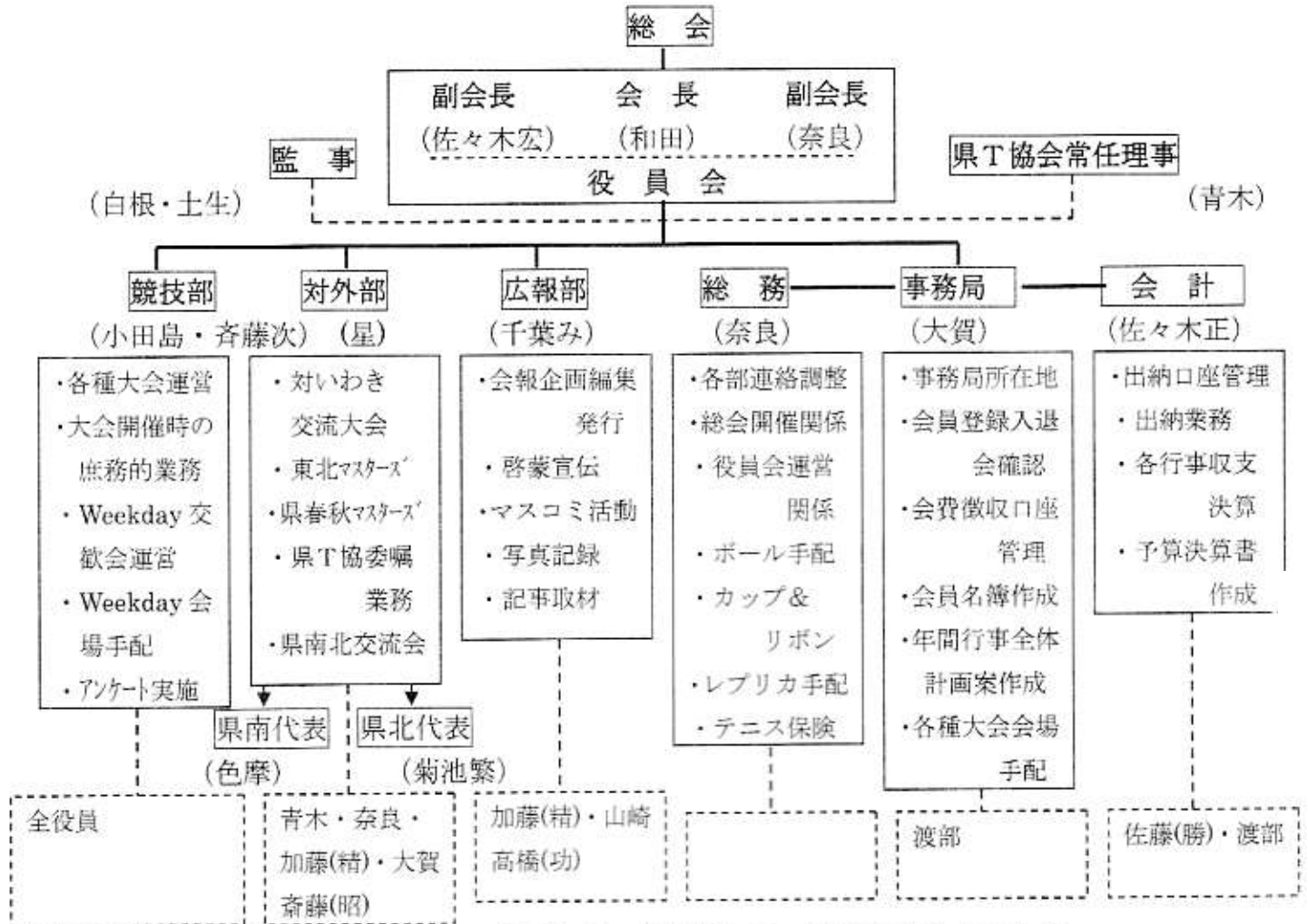
第16条 本規約の改正は総会の議決による。

〈 細 則 〉

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮して、役員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)
(平成9年12月6日改正)
(平成14年12月7日改正)
(平成15年12月6日改正)
(平成21年1月9日改正)

平成24年度みやぎいきいきテニス連盟組織体制



※新役員は伊藤武美・武田隆一・庄子和恵・阿部真知子・櫻谷恵美子さんです。

平成23年度総会報告

副委員長 奈良 征一郎

「シェルコムせんだい」で3月28日昼食時間を利用し約50分間で開催しました。総会参加者85名・委任状提出者48名の合計133名と多くの参加者で盛会でした。和田会長の挨拶に始まり、各担当部長の説明で審議が行われ参加者の承認を頂きましたので報告いたします。詳細はく会報#43号>を熟読いただき、ご理解とご協力をお願いします。会長挨拶では、「大震災の影響で中止の行事が3件ありました。しかし、実施した17行事の参加者は延926名と予定の90%と会員の協力で盛会でした」「役員補充を実施し、新役員5名を指名しました」「役員全員の協力で会員のために努力します」などの報告がされました。総会終了後「新春連盟祭り(団体戦)」の午後の部を続行し、予定通り楽しく終了出来ました。

編集後記

ねりんピックで「大震災の励まし・支援に感謝して」の報告があり、改めて「頑張ろう宮城」を感じました。ワンポイントルールの会員のご意見を聞ければ幸いです。生年別会員状況をグラフにしてみました、現状の把握&会員増強の取組みの参考になればと思います。

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会